

2022年4月17日：イースター礼拝
「イースターのメニュー：いのちのパン」

10年に一度、過越の祭りといースターが重なる

1 コリント 5:7-8 新共同訳

⁷いつも新しい練り粉のままでいられるように、古いパン種をきれいに取り除きなさい。現に、あなたがたはパン種が入っていない者なのです。キリストが、わたしたちの過越の小羊として屠られたからです。⁸だから、古いパン種や悪意と邪悪のパン種を用いなくて、パン種が入っていない、純粋で真実のパンで過越祭を祝おうではありませんか。

聖書でパン種とはどういう意味がありますか？

- 罪「歪んだ考え方、そしてそこから発生する行動」
- 偽善
- 律法主義

ガラテヤ 5:1,4-9

¹この自由を得させるために、キリストはわたしたちを自由の身にしてくださったのです。だから、しっかりしなさい。奴隷の軛に二度とつながれてはなりません…⁴律法によって義とされようとするなら、あなたがたはだれであろうと、キリストとは縁もゆかりもない者とされ、いただいた恵みも失います。⁵わたしたちは、義とされた者の希望が実現することを、“霊”により、信仰に基づいて切に待ち望んでいるのです。⁶キリスト・イエスに結ばれていれば、割礼の有無は問題ではなく、愛の実践を伴う信仰こそ大切です。⁷あなたがたは、よく走っていました。それなのに、いったいだれが邪魔をして真理に従わないようにさせたのですか。⁸このような誘いは、あなたがたを召し出しておられる方からのものではありません。⁹わずかなパン種が練り粉全体を膨らませるのです。

サワードウ・ブレードの作り方と種無しパンの作り方

- 材料：小麦粉、オリーブオイル、塩、水
- 違いは？

聖書による種無しパン：過越の祭り

出エジプト記 12:18-20

¹⁸正月の十四日の夕方からその月の二十一日の夕方まで、酵母を入れないパンを食べる。¹⁹七日の間、家の中に酵母があってはならない。酵母の入ったものを食べる者は、寄留者であれその土地に生まれた者であれ、すべて、イスラエルの共同体から断たれる。²⁰酵母の入ったものは一切食べてはならない。あなたたちの住む所ではどこでも、酵母を入れないパンを食べねばならない。』」

- 奴隷から自由人にされる：物理的にも霊的にも手放す習慣

- 即座に徹底して行う

荒野で：マナ

出エジプト 16

- 自力ではなくて、日々主に信頼して生きること

イエス様の最後の過越の祭り（最後の晩餐）→ 聖餐式

マタイ 26:26

一同が食事をしているとき、イエスはパンを取り、賛美の祈りを唱えて、それを裂き、弟子たちに与えながら言われた。「取って食べなさい。これはわたしの体である。」

- 主との交わり、つながりを通して生かされる存在

イエス様：いのちのパン

ヨハネ 6:31-35

³¹わたしたちの先祖は、荒野でマナを食べました。『天からのパンを彼らに与えて食べさせた』と書いてあるとおりです。」³²すると、イエスは言われた。「はっきり言っておく。モーセが天からのパンをあなたがたに与えたのではなく、わたしの父が天からのまことのパンをお与えになる。³³神のパンは、天から降って来て、世に命を与えるものである。」³⁴そこで、彼らが、「主よ、そのパンをいつもわたしたちにください」と言うと、³⁵イエスは言われた。「わたしが命のパンである。わたしのもとに来る者は決して飢えることがなく、わたしを信じる者は決して渴くことがない。

まとめ：

1. あなたの心の中で発酵している、手放すべきことは何でしょうか？
2. どのようにしてあなたの心から「酵母」を取り除くのでしょうか？
3. どのようにして「いのちのパン」であるイエスを日々受け取りますか？